

【今週の注目疾患】

【新型コロナウイルス感染症：第9報】

3月10日12時現在、日本ではこれまでに患者458例（国内事例446例、チャーター便帰国者事例11例、空港検疫1例）、無症状病原体保有者56例（国内事例52例、チャーター便帰国者事例4例）およびクルーズ船における事例696例の報告がある。国内では、感染経路が明らかではない患者が散発的に発生しており、一部地域では小規模な患者クラスター（集団）が把握されている。

全世界では113,702例（うち死亡4,012例）の新型コロナウイルス感染症例が報告されており、WHOはリスク評価において世界的なリスクを当初の「高い」から「非常に高い」に引き上げている。

・厚生労働省：新型コロナウイルス感染症について

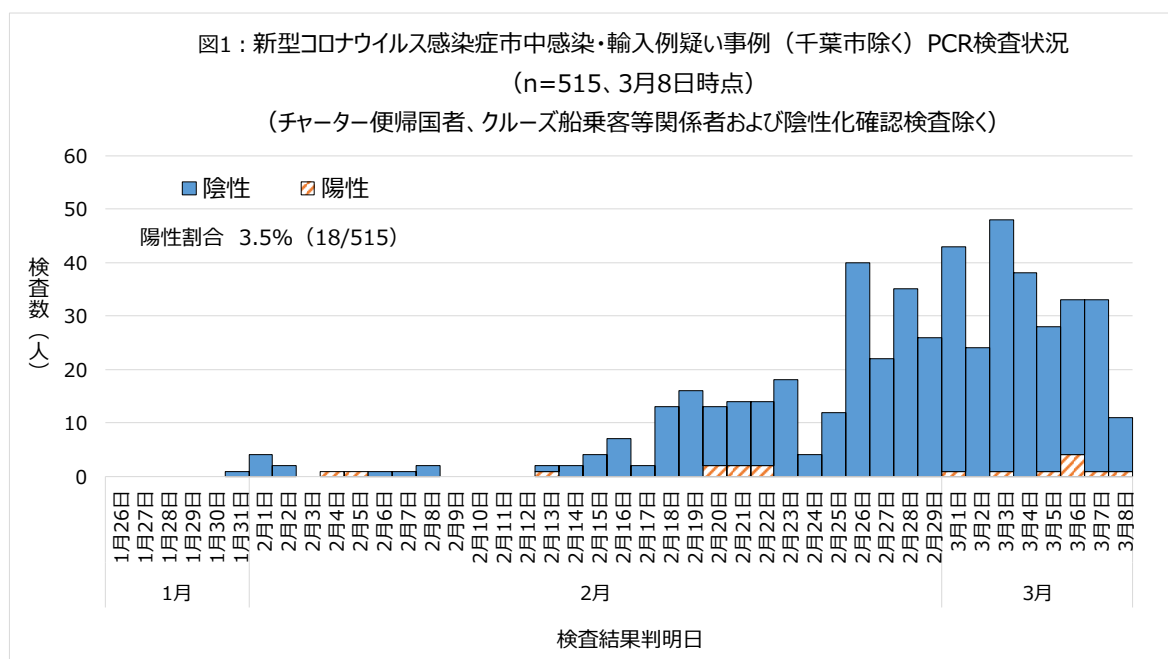
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#houdoutsuuchi

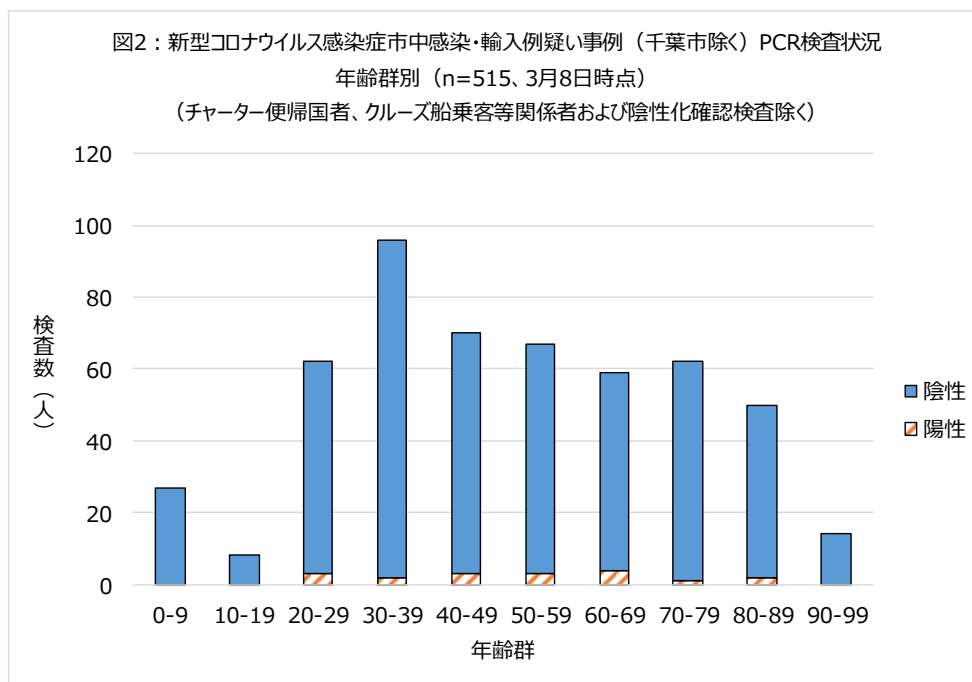
・World Health Organization (WHO) : Coronavirus disease 2019 (COVID-19) Situation Report - 50

https://www.who.int/docs/default-source/coronaviruse/situation-reports/20200310-sitrep-50-covid-19.pdf?sfvrsn=55e904fb_2

県衛生研究所では2020年第10週(2020年3月8日時点)までに1,021例(検体数1,233)について新型コロナウイルス感染症の検査を実施した。県内保健所(千葉市除く)から搬入された市中感染・輸入例疑い事例は540例(うち陰性化確認25例)となっており、この他チャーター便関連事例89例(同15例)、クルーズ船関連事例392例(同102例)の検査を実施した(今後一部については保健所で検査実施)。

そのうち市中感染・輸入例疑い事例540例(検体数738)について、陰性化確認25例を除いた515例のうち陽性は18例(陽性割合:3.5%(18/515))であり、陽性例は20代～80代において認められた(図1、図2)。





現在は大規模な感染拡大を防ぎ、感染の流行を早期に終息させるため、患者集団（クラスター）が次の集団（クラスター）を生み出すことを防止することが極めて重要であり、徹底した対策を講じていく必要があります。これまでの屋内の閉鎖的な空間で、人と人が至近距離で、一定時間以上交わることによって、患者集団（クラスター）が発生する可能性が示唆されます。そして、患者集団（クラスター）が次の集団（クラスター）を生むことが、感染の急速な拡大を招くと考えられます。風通しの悪い屋内の集まりを避けるよう注意をお願いします。

なお、次の症状がある方は「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

- ・風邪の症状や 37.5℃以上の発熱が 4 日以上続いている。
（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）
- ・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が 2 日程度続く場合

センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。

帰国者・接触者相談センターはお住まいの住所を管轄する健康福祉センター(保健所)の「帰国者・接触者相談センター」(平日)、または相談受付(電話 043-223-2989。ファックス 043-224-8910 (※聴覚に障害がある方をはじめ、電話での御相談が難しい方は、ファックスを御利用ください。))。土曜・日曜・祝日)に御相談ください。各「帰国者・接触者相談センター」の電話番号などは、下記「帰国者・接触者相談センターについて」のページを御覧ください。
帰国者・接触者相談センターについて

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/singata-korona-soudan.html>

【相談後、医療機関にかかる時のお願い】

- 帰国者・接触者相談センターから受診を勧められた医療機関を受診してください。複数の医療機関を受診することはお控えください。
- 医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット（咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる）の徹底をお願いします。